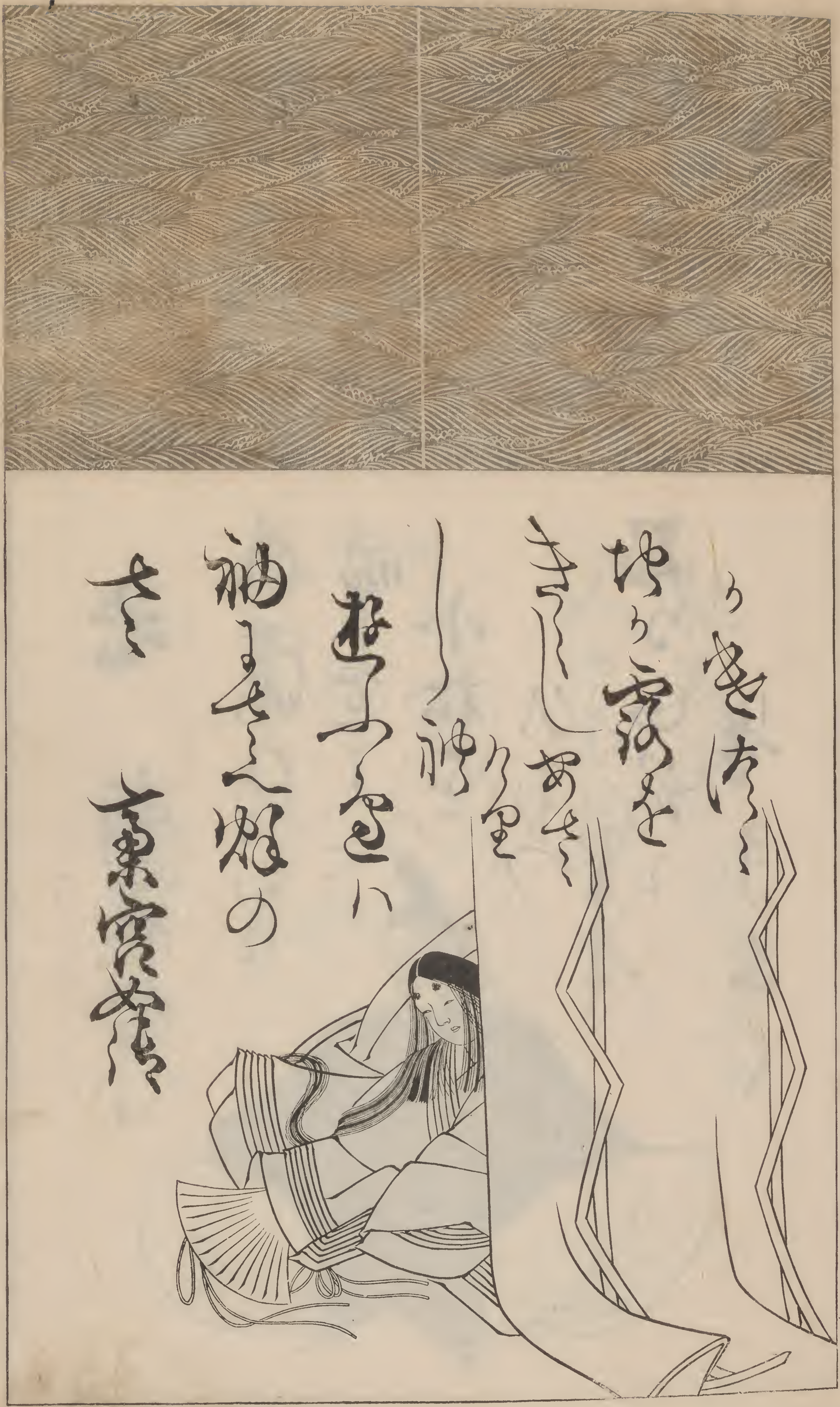
尾形流百景

下

226



うきたひに
やゝ露を
きゝしあさゝ
くもり
し袖
ほつゝ色ハ
袖よりもへぬの
さゝ

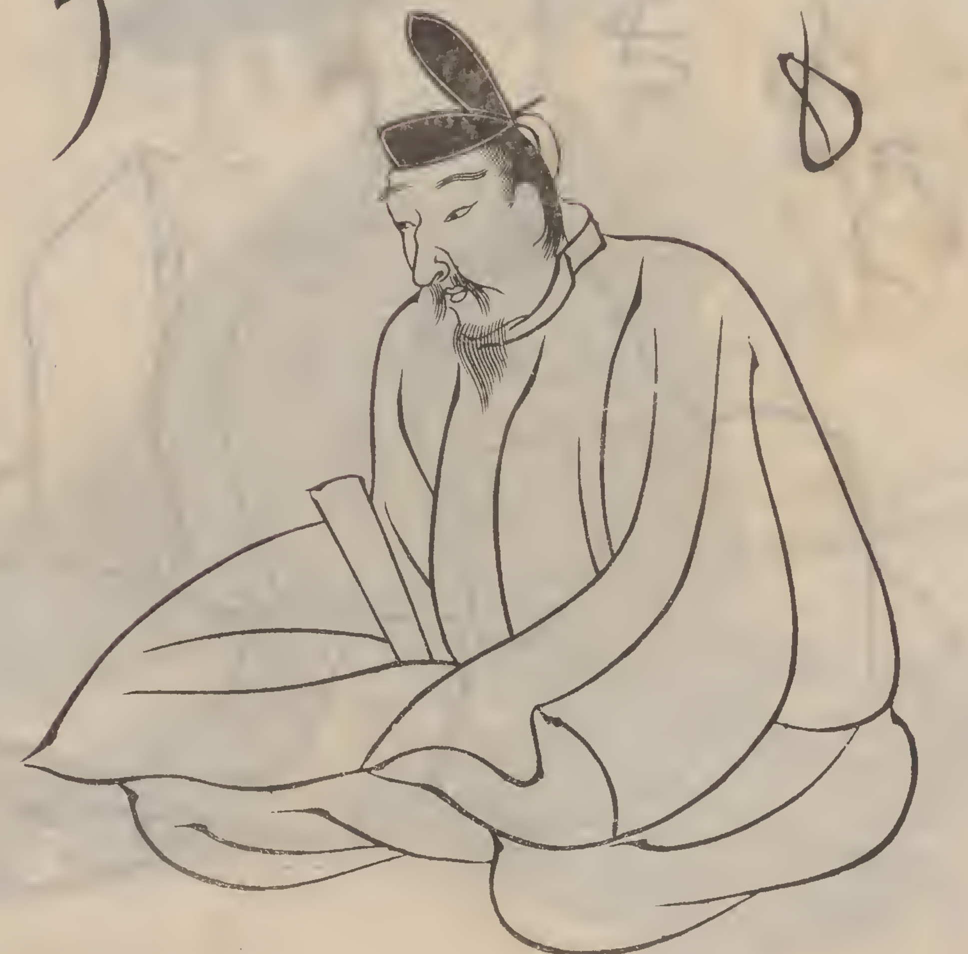
東宮宣旨

右　頼基朝臣

子日ひける
野辺に
小松を
ひきつれて
帰る山路に
鶯そなく

枯ぬとおもへは
人めも草も
まさりける
さひしさ
山里は冬そ

左　宗于朝臣



右　重之

夏かりの玉江のあしをふみしたきむれゐる鳥のたつそらそなき

左　敏行朝臣

秋はきの花さきにけり高砂のをのへのしかハいまや鳴らん

右　信明朝臣

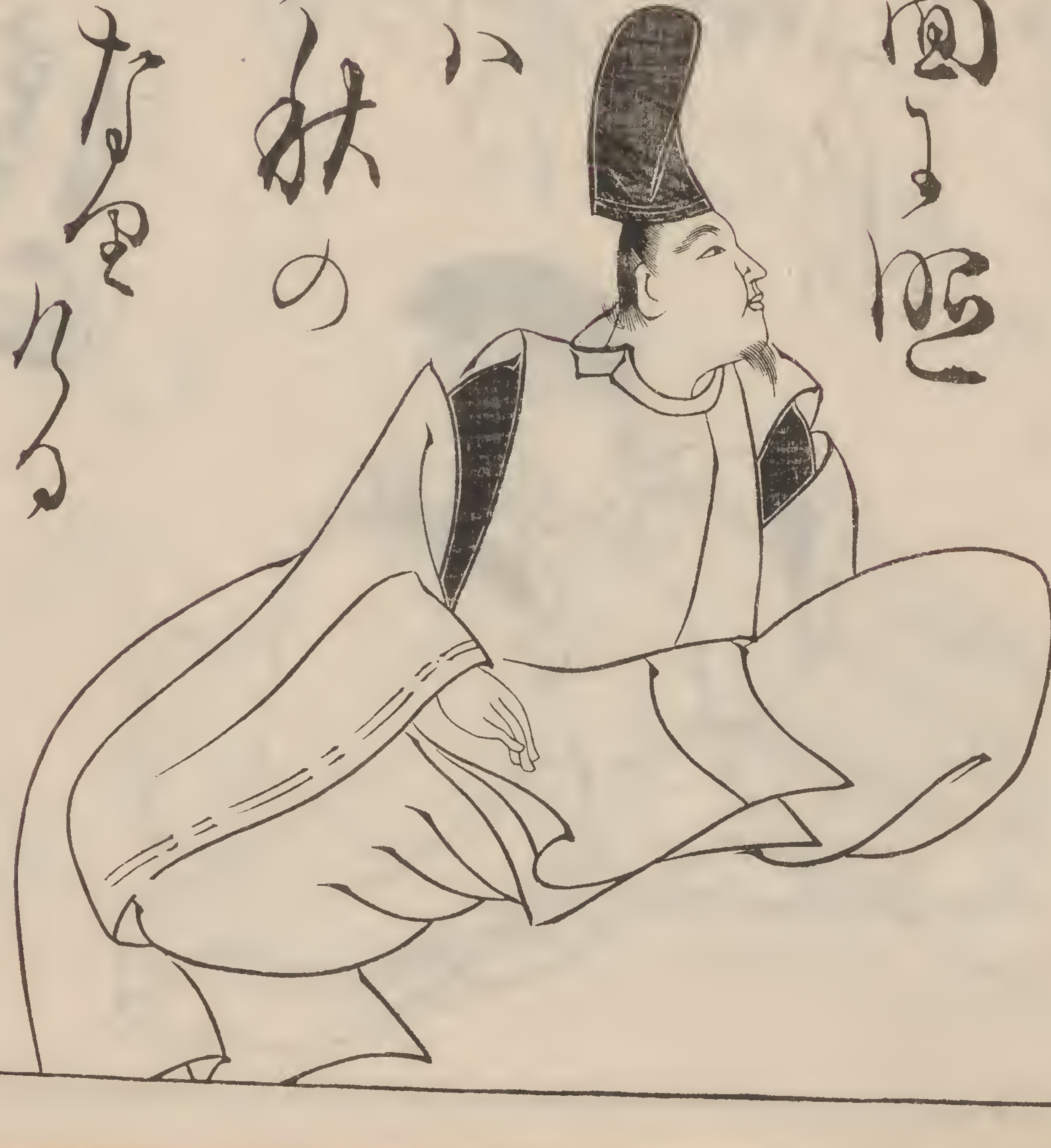
ほのぼのと有明乃月乃月影に紅葉吹きおろす山おろし乃風

左　清正

あま津かせふけ井乃浦にゐるたつのなとか雲居にかへらさるへき

右　順

水乃面にてる
月なみを
かそふれは
こよひそ秋の
もなかなりける



左　清正

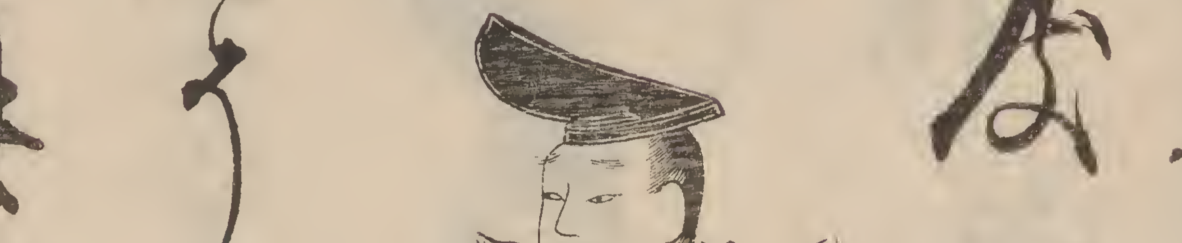
あまつかせ
ふけ井乃
浦にゐる
たつの
なとか
雲居にかへらさるへき

右　順

水の面に照月なみを
かぞふれハ
こよひぞ秋の
もなかなりける

左　興風

契けむ心ぞ
つらき
たなはたの
年に一度
逢ハあふかハ

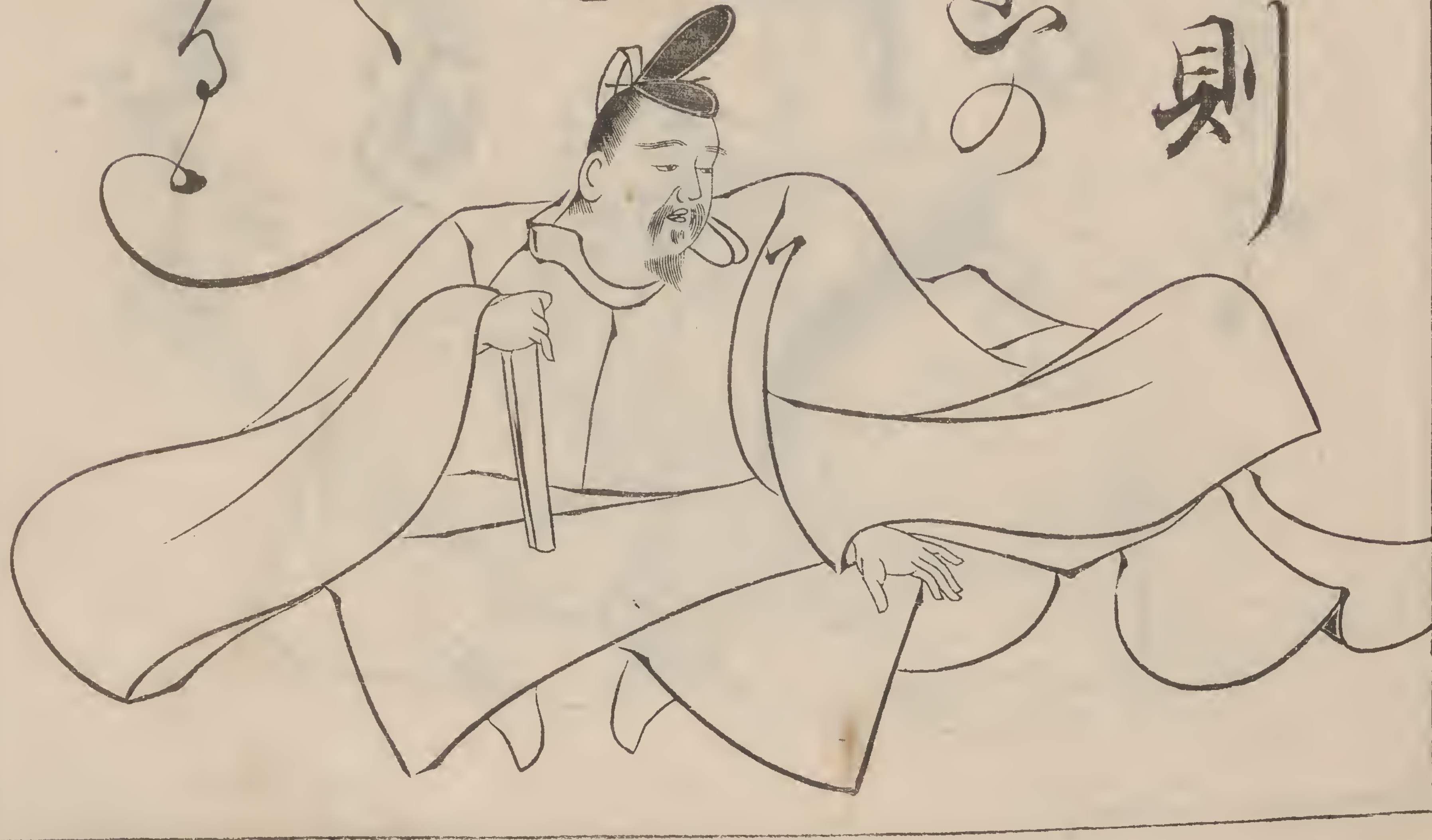


右　元輔

契きなかたみに
袖をしほり
つゝ
末の松山
波こさしとは

左　是則

三芳野乃山の
しら雪
つもるらし
ふるさと寒く
なりまさるなり



右

之吉

さきそむるは山里乃千や花ぞて
まれしのは
おもぬ
雲と見るまで

見ゆる
雲かと春て
たついなかなをを
れ神い
風乃もせ
大井川ゆ春ふ

左

小大君

[illegible]仲文

思ひしる人に
見せばや夜も
すがら
わかとこ
なつに
おきゐつる露

物をこそ思へ
ひるはきえつゝ
夜はもえ
焼火の
みかきもり衛士の

大 能宣朝臣

右　忠見

いつかたに鳴て行らむ郭公よとの渡のまたよふかきに

左　兼盛

しのふれと色に出にけりわか恋ハものやおもふと人のとふまて

林和清
淡彩

何帛筆 四季之草花 極彩色 乃包虎摹本

墨画
鶏

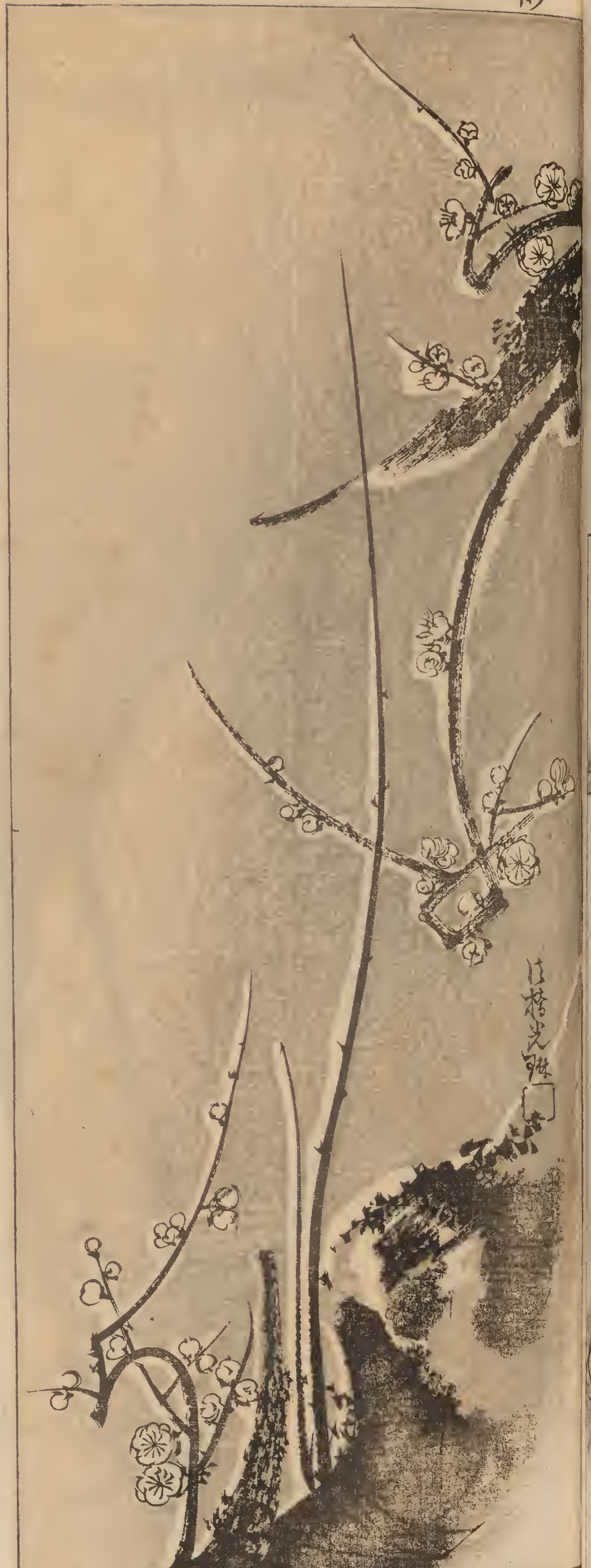
多賀谷氏蔵

空中筆極彩色三幅對

極彩色
菅公

淡彩
鵜舟

雪の紅梅
淡彩



雪の松
淡彩

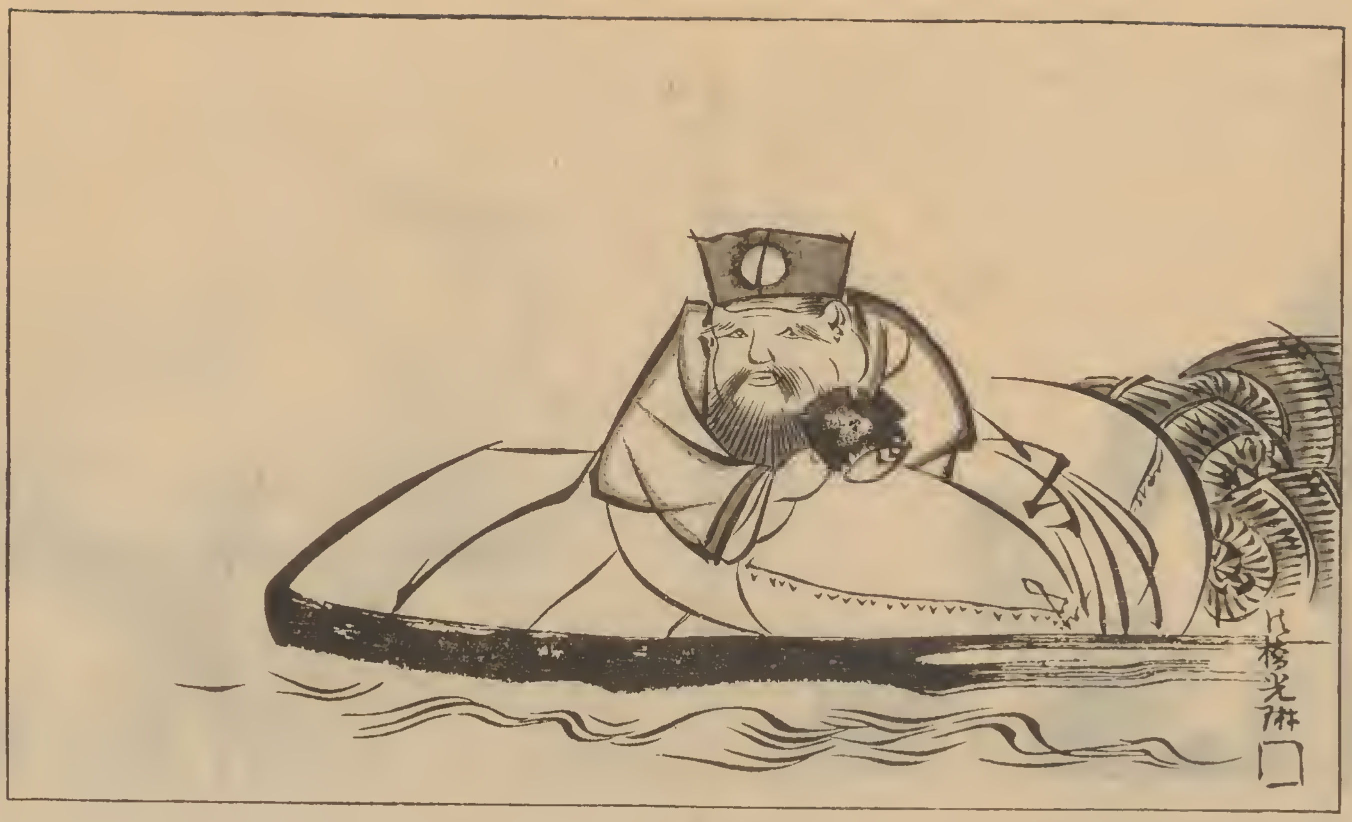
青山庚家蔵
雲鶴群歩図
金地六枚折
屏風一双

青々光琳画之

福女之図
彩色

宗理筆梅椿に鶏彩色

光琳墨画大黒天



宗達筆
三幅彩色

光琳筆 袋戸二枚

何帠筆 紅白牡丹彩色

宗達筆 二幅 草花筆 墨画かく

渡辺如興
諸葛亮之像 淡彩

渡辺如興筆 寿老鹿 淡彩

渡辺如興筆
小石真写一巻之内
野澤氏之蔵

鶉（ワツラ）

クヒノヒルトキハ
無飛ノサカイナク
ノヘツケ之

比飛ノモヤウ
カクルヽトキモアリ
ミユルコトモアリ

呼潮（チドリ）
享保十八癸丑
十二月五日
ウツムク時ハ
首スジノ白ミフトク
アヲヌク時ハクビノ白ミホソシ
ム子ノ黒ミ乏ミシタコウ

セクロ
セキレイノ
子ヲ世又
キ色有
下尾四枚
白
魚狗（カハセミ） 本綱
又セウヒン
トモイロ
ケカキ
アリ
渡辺求馬始興筆意

宗達牛狗
二幅墨画

尾形宗謙筆恵比寿淡彩

尾形宗謙
自画賛
一筆流引
淡彩
小川氏蔵

毎朝見花と
いふことを
よみ侍りし

中院右大臣

あさ清めまたせて
こゝろゆくまての
朝露よ
花乃したひもみ
ぬれぬ日そなき

藤原季通朝臣

十つゆきまに
[illegible]
[illegible]

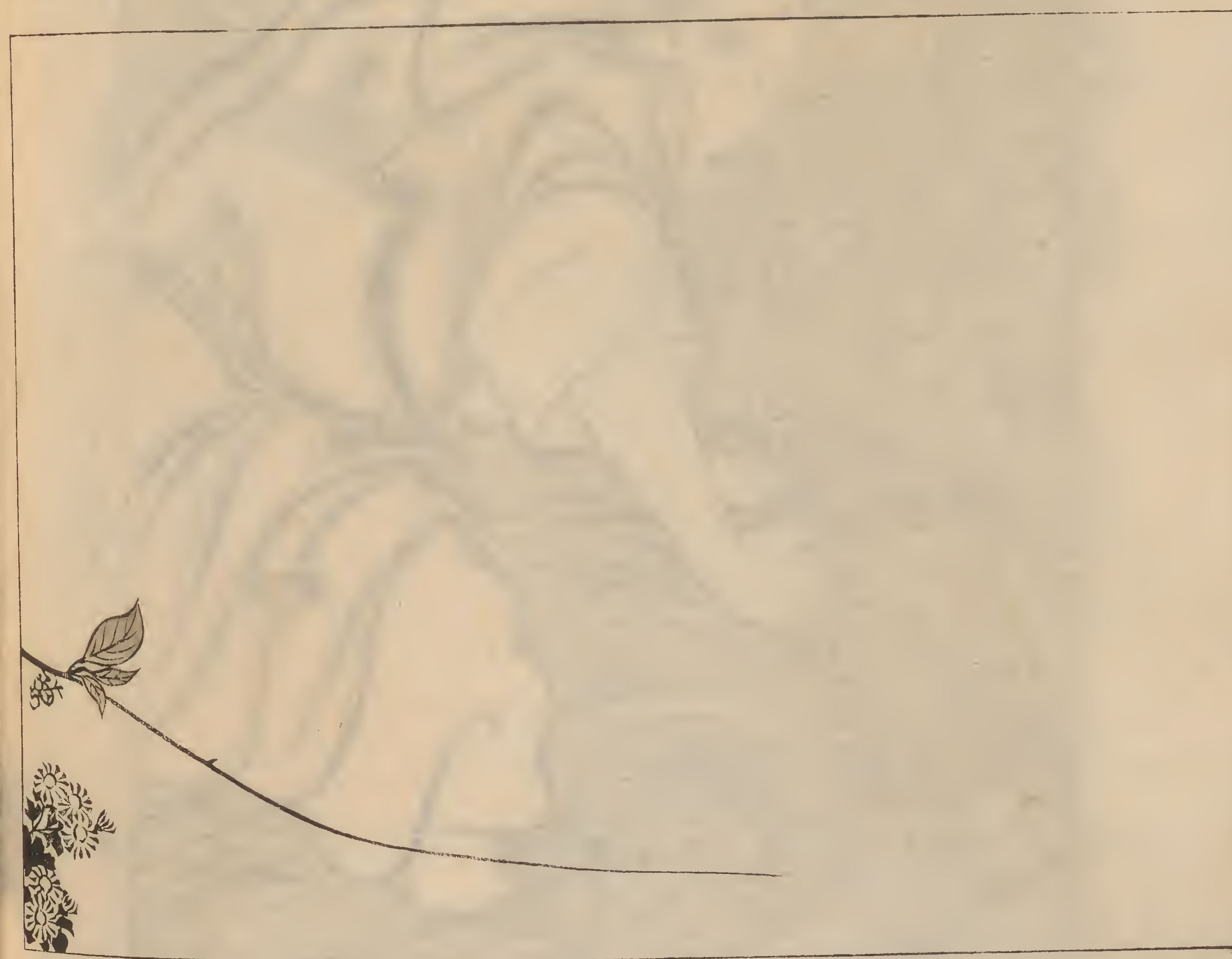
雛[illegible]
[illegible]

百首歌
[illegible]

大炊御門右大臣

とし毎[illegible]
[illegible]松を
[illegible]

[illegible]
池乃[illegible]



宮内卿
いほりさす […] しめ家

賀茂成保
ほのみえし雲の
かすみ […] 月さえて
山ふかき […]
所 […]

刑部卿頼輔
歌合し侍ける
納涼の
[…]

前参議教長
岩ねゆく谷の水の
[…] 秋て
夜はしらぬ
深山辺の
里

堀河院御時百首
歌たてまつりける時よめる
大納言師頼
露しげき […]
はし […]

宗達筆 秋草小屏風 金地極彩色

女郎花

ほころひなん
袖ぬるとも
百首歌よみ侍る時
月乃うちに
宗衛門督親要
つゆにまさる花
おとしく
秋乃野の錦
月やとる
萩乃上風
花薄乃かせ
小田山
葉乃黒
あし(ひき)乃
もみちはの
紀康宗
嵯峨乃
しもの袖
袖ぬれ

宗達筆松彩色小屏風

むこの分とし
にふたまれ
前大納言隆卿
霜の袖の
錦
のこすらん
やよひまれい
葉よわ咲の
なきもありぬ雪
後翁の慈の心を
しめす
従二位輔政
ふかきいろさへ
あらぬ花の
花さへ色に
つはの
玉まつくるし
わまし残まつるめ

みさふ君ましく今朝時
見る羽屋をやつし世給ける
此八条院内親王より
今もより清らかに竹返
年あたらしきをよろこばれ
常ににようこを添ふは

院御製

幾代しもよろづよを
くれ竹や君がよはひの
しめるよ雨る花

寛文五年六月日
法橋宗謙謹書

さいつとし抱一上人おなし画風の人々乃
印を集めてこれをまきとなしてひろく
世にしられて尾形流畧印譜といふおほやけ
仿神きわこゝろひおのれそれまてなりし
光琳のみにもあらす光悦宗達等の画をも
縮寫しあつめて尾形流百圖と名つけ
同好の人に傳へ月雪の花にめつるものと
せんとは

晴々堂明誌

彫工　田中養壽

明治二十二年七月廿八日印刷
同　年八月一日出版

發行者　東京淺草區上平右エ門町十三番地
中野其明

印刷者　東京下谷區二長町十三番地
鈴木吉太郎

賣捌所

日本橋區葺屋町六番地 東陽堂 吾妻健三郎
日本橋區通三町目 丸家善八
横濱伊勢崎町壱丁目 髙木喜代
日本橋區濱町壱丁目三番地 繪之具商 杉山仙助
日本橋區通壱町目 大倉孫兵衛
横濱弁天通 丸善支店
両國吉川町貳番地 松本平吉
日本橋區萬町 繪之具商 中村治平
淺草區北東仲町五番地 淺倉屋 吉田久兵衛